

幕末維新の若者たち

高崎藩英学校

*The Takasaki-han
English School*

平成22年

10月13日(水)

休館日:月曜日・祝日の翌日

11月28日(日)

入館無料 9時～16時

高崎市歴史民俗資料館

〒370-0027 群馬県高崎市上滝町1058

Tel/Fax:027-352-1261

記念事業

参加費無料、要予約9月22日より受付
申し込み先着順

- ▶ 講演会 (定員50名 場所:高崎市歴史民俗資料館) ◀
「近世の武士教育～高崎藩の藩校教育と英学校設立を中心に～」
10月16日 10:00～12:00
講師:群馬県立文書館指導主事 阿久津 聡 氏
「寺子屋師匠と高崎の若者たち」 10月23日 10:00～12:00
講師:高崎市文化財調査委員 森田 秀策 氏
- ▶ 藩校・私塾・寺子屋の史跡めぐり (定員30名、小雨決行) ◀
「高崎城下編」 11月6日 9:30～12:00
講師:元高崎市史編集専門委員 中村 茂 氏
「大類地区編」 11月13日 9:30～12:00
講師:元高崎市史編集調査員 高井 郁朗 氏

後援:上毛新聞社・高崎市民新聞社・ラジオ高崎

The Takasaki-han English School

幕末維新の若者たち ―高崎藩英学校―

平成22年度高崎市歴史民俗資料館企画展Ⅱ・高崎の幕末維新シリーズ第3弾

時はさかのぼること幕末維新期、全国の藩が優秀な人材を求めて「藩校」を設置する中、高崎藩も「遊芸館」「文武館」を開設します。一方、慶応四年(明治元年)の小栗上野介忠順の斬首、三国戦争や北越戦争への出兵、翌明治二年の高崎五万石騒動の勃発と、高崎藩には幕末維新の動乱の火種がくすぶり続けていました。そういった状況の中で、知藩事である大河内輝聲は、明治三年(一八七〇)に「英学校」を開校し、若き日の内村鑑三や尾崎行雄といった大河内輝聲は、明治三年(一八七〇)に「英学校」を開校し、若き日の内村鑑三や尾崎行雄といった人々が学びます。後に彼らは日本や世界を舞台に活躍していきます。今年は「英学校」開校から一四〇年目にあたります。

今回「高崎藩英学校」の関連資料のほか、市内の私塾・寺子屋教育にもスポットを当てたいと思います。当時の若者たちの青春群像をご覧頂き、市民の皆様にも郷土への理解を一層深めて頂く機会となれば幸いです。

高崎城乾櫓(群馬県指定重要文化財)



高崎市歴史民俗資料館

〒370-0027 群馬県高崎市上滝町1058番地
TEL/FAX 027-352-1261

E-mail: rekimin@city.takasaki.gunma.jp

URL: <http://www.city.takasaki.gunma.jp/soshiki/rekimin/>

【交通案内】

- バス JR高崎駅西口(群馬中央バス)
県立女子大学行き約30分 慈眼寺裏下車徒歩3分
JR高崎駅東口(群馬バス)
亀里町JAビル行き約20分 下滝西下車徒歩8分
JR高崎駅東口(ぐるりん)
群馬の森線 滝川郵便局下車徒歩15分
- 車 関越自動車道(高崎IC) 5分

協力/財群馬文化協会・群馬県立文書館・高崎市立図書館・高崎市役所総務部庶務課市史資料担当・頼政神社・玉田寺・向雲寺・興禅寺・光明寺(若松町)
・福田寺・竜広寺・近藤義雄・高井和重・柳井久雄・梅山功・山口ひろ子・川合英夫・笠原秀雄・佐藤繁・岡田昭・中嶋宏・志村隆(順不同、敬称略)